

輸送動向について(平成23年2月分)

平成23年3月

1. 輸送概況

今月は、1月末から続いた北日本地区を中心とする大雪に伴う輸送障害により、高速貨90本、専貨6本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響を受けたものの、景気の減速に底入れ感が出てきたことから、月全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、食料工業品、積合せ貨物などが前年を下回ったものの、紙・パルプ、家電・情報機器、化学工業品などが前年を上回り、全体では前年比101.2%となった。紙・パルプは車扱のコンテナ化により増送となった。また、化学工業品は原油価格の高騰によるゴム・樹脂製品の値上げを見越して出荷が好調となった。一方、食料工業品は前月に引き続きたばこの出荷が低調に推移したこと及び昨年夏の天候不順を受け砂糖の生産量が減少したことにより減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石が前年を上回り、全体では前年比104.5%となった。石油は製品の先高感を受けて出荷が旺盛となった。セメント・石灰石は一部荷主の生産工場の統廃合及び工事の増加に伴い増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,646	1,626	101.2%	19,089	18,405	103.7%
車 扱	1,035	991	104.5%	9,606	9,666	99.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	154	150	4	102.7%
	化学工業品	159	151	8	105.3%
	化学薬品	129	130	-1	99.2%
	食料工業品	230	239	-9	96.2%
	紙・パルプ	254	244	10	104.1%
	他工業品	135	134	1	100.7%
	積合せ貨物	163	171	-8	95.3%
	自動車部品	76	73	3	104.1%
	家電・情報機器	38	33	5	115.2%
	エコ関連物資	29	31	-2	93.5%
	その他の	279	270	9	103.3%
	コンテナ計	1,646	1,626	20	101.2%
車 扱	石油	737	712	25	103.6%
	セメント・石灰石	128	98	30	131.0%
	車 両	90	97	-7	92.3%
	その他の	80	84	-4	95.9%
	車 扱 計	1,035	991	44	104.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)